

令和 7 年度全国会議シンポジウム

強靱で持続可能な水道システムの構築 ～水道カルテから考える水道の基盤強化～

イントロダクション

広島市水道局

次長（兼）技術部長 鬼村 和人

シンポジウム趣旨

- 背景**
- 我が国の水道施設は、高度経済成長期に整備されたものが多く、老朽化が進む中、**強靱で持続可能な水道システムの構築が急務**となっている。
 - 一方、水道施設の更新や耐震化を実施していくには、ステークホルダーである住民一人ひとりの水道への理解が不可欠である。
 - このため、国土交通省から**料金回収率や基幹管路等の耐震化率を指標**に各事業体の現状を見える化した水道カルテが令和6年度に公表された。



- 目的**
- この指標が公表されたことを足がかりとして、**水道事業体の経営改善、耐震化の推進、住民への理解醸成**を水道界全体で共有・加速させる

本日の流れ

- 1 水道カルテの概要について
- 2 水道事業の基盤強化に向けた日本水道協会の取組
- 3 強靱で持続可能な水道システム構築に向けた水道事業体の取組
～耐震化推進の現状、料金改定の考え方、住民理解促進～
- 4 パネリストによる質疑応答
- 5 水道カルテから考える水道事業体の将来について
- 6 聴講者による質疑応答
- 7 閉会のことば